

2011年5月30日

多賀城市内 全4か所の避難所対象

避難者全員・個人状況調査の実施報告

多賀城市と「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（略称：つなプロ）」（民間非営利組織）では、多賀城市内4か所の避難所を対象とした、避難者の個人状況調査を共同で実施したので、その結果をお知らせします。これは、避難所を管理する多賀城市と、被災者支援を実施しているNPOが協働で全市的な避難者の状況把握を試みた取り組みです。

調査の目的

この調査は、避難所に避難している方々の年齢や避難理由、健康状態、どのような点に特に不安を持っているか、必要としている支援の内容など個別の状況を調査することにより、避難者の実態把握と、今後の避難者の支援に向けた情報を収集することを目的として、多賀城市内4避難所、約1,000名（調査時）の避難所避難者の方々を対象に行ったものです。

調査概要

◆調査実施日	2011年4月28日（金）～5月1日（日）
◆調査主体	多賀城市、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（つなプロ）
◆調査実施	被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（つなプロ） 特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター （多賀城市市民活動サポートセンター事務局）
◆調査方法	多賀城市内4か所の避難所の高校生以上の避難者全員へ、 調査票を個別配布し、アンケート調査を実施
◆配布数	約1,000通
◆回収率	53.6%

主な調査項目

- | | | |
|-----------------------------|-------------------|--------|
| ・性別、年齢、居住年数 | ・避難理由 | ・仕事の状況 |
| ・（本人および家族の）健康状態、必要な支援内容について | | |
| ・避難所の周りの人の状況について | ・将来について特に不安なこと | |
| ・避難所での相談相手 | ・今後3か月以内に取り組みたいこと | |
| ・生活の再建に向けて特に相談したいこと | | |

調査結果の詳細については、下記サイトより閲覧可能です。

<http://blog.canpan.info/tsunapro/>

本調査に関する問合せ先

- ・多賀城市役所 総務部 地域コミュニティ課：担当 吉田 電話 022-368-1141 内線 251
- ・被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（つなプロ）：担当 鈴木
電話 080-3303-3231

調査実施主体の紹介

被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト（略称：つなプロ）について

避難所で状況悪化者を出さないために、避難所での課題や困りごとを発見して専門性を持つNPO等への支援とつなげることをミッションとする民間非営利組織の合同プロジェクト。特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターや公益財団法人日本財団、阪神大震災の経験をもつ関西のNPOなどが連携し、東日本大震災を機に設立した。

<http://blog.canpan.info/tsunapro/>

NPO 法人 せんだい・みやぎ NPO センター について

せんだい・みやぎ NPO センターは、仙台・宮城で活動している NPO、そしてこれから誕生する NPO が、活動しやすい社会環境を整え、そして、NPO と行政セクターや企業セクター、市民との出会いの機会を創り出すことを目的にしている、NPO を支援する民間の NPO（仲介型 NPO 支援組織／インターメディアリー）です。

主な事業としては、各NPOの経営支援のためのコンサルや各種講座・イベントの実施、県内で活躍するNPOの情報公開支援を目的とした「NPO情報ライブラリー」の運営、さらに官民協働を柱にした自治体の改革支援、そして各企業におけるCSRの推進等を進めている。

また、仙台市、多賀城市、名取市が設置した市民活動支援施設の管理運営者として、それぞれ指定管理および事業受託を担っています。

<http://www.minmin.org>